

嘉庆道光两朝上谕档

广西师范大学出版社

中國第一歷史檔案館編

道光朝上諭檔

第三十冊（道光五年）

廣西師範大學出版社

嘉慶道光兩朝上諭檔 第三十冊 目錄

道光五年(乙酉 公元一八二五年)

正月

初二日		(一)
初三日		(二)
初四日		(三)
初五日		(四)
初六日		(五)
初七日		(六)
初八日		(七)
初十日		(八)
十一日		(九)
十二日		(一〇)
十三日		(一一)
十四日		(一二)
十五日		(一三)
十六日		(一四)
十七日		(一五)
十八日		(一六)
二十日		(一七)
二十一日		(一八)

二月

二十二日		(一九)
二十三日		(二〇)
二十四日		(二一)
二十五日		(二二)
二十七日		(二三)
二十八日		(二四)
二十九日		(二五)
三十日		(二六)
初一日		(二七)
初二日		(二八)
初三日		(二九)
初四日		(三〇)
初五日		(三一)
初六日		(三二)
初七日		(三三)
初八日		(三四)
初九日		(三五)
初十日		(三六)

三月

初八日	初七日	初六日	初五日	初四日	初三日	初二日	二十九日	二十八日	二十七日	二十五日	二十四日	二十三日	二十二日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十四日	十一日
.....																				
(六七)	(六六)	(六五)	(六四)	(六三)	(六三)	(六三)	(六一)	(六〇)	(五九)	(五九)	(五八)	(五六)	(五五)	(五四)	(五二)	(五〇)	(四九)	(四八)	(四四)	(四三)

四月

初一日	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	初十日	初九日
.....																				
(九三)	(九一)	(九〇)	(八九)	(八七)	(八六)	(八四)	(八三)	(八二)	(八〇)	(七九)	(七八)	(七六)	(七四)	(七三)	(七二)	(七一)	(七一)	(六九)	(六八)	(六八)

初二日		(九三)
初五日		(九四)
初六日		(九六)
初七日		(九六)
初八日		(九九)
初九日		(一〇〇)
初十日		(一〇三)
十一日		(一〇五)
十二日		(一〇六)
十三日		(一〇六)
十四日		(一〇七)
十五日		(一〇八)
十六日		(一〇九)
十七日		(一一〇)
十八日		(一一一)
十九日		(一一二)
二十日		(一一二)
二十一日		(一一三)
二十二日		(一一三)
二十三日		(一一三)
二十四日		(一一四)
二十五日		(一一四)
二十六日		(一一五)
二十七日		(一一六)
二十八日		(一一七)

二十九日		(一一八)
五月		
初一日		(一一九)
初二日		(一二九)
初三日		(一二二)
初四日		(一二四)
初五日		(一二四)
初六日		(一二五)
初八日		(一二六)
初九日		(一二六)
初十日		(一二六)
十一日		(一二八)
十二日		(一二九)
十三日		(一二九)
十四日		(一三〇)
十五日		(一三〇)
十六日		(一三一)
十七日		(一三二)
十八日		(一三三)
十九日		(一三五)
二十日		(一三七)
二十一日		(一三七)

六月

初一日		(一四八)
初二日		(一四八)
初三日		(一五一)
初五日		(一五二)
初六日		(一五二)
初七日		(一五五)
初九日		(一五六)
初十日		(一五七)
十一日		(一五九)
十二日		(一六〇)
十三日		(一六一)
十四日		(一六五)
十五日		(一六五)
二十二日		(一三八)
二十三日		(一三九)
二十四日		(一四〇)
二十五日		(一四〇)
二十六日		(一四二)
二十八日		(一四二)
二十九日		(一四三)
三十日		(一四五)

七月

初一日		(一八八)
初二日		(一八八)
初三日		(一八九)
初四日		(一九二)
初五日		(一九二)
初六日		(一九四)
初七日		(一九七)
十六日		(一六六)
十七日		(一六七)
十八日		(一七〇)
十九日		(一七一)
二十日		(一七二)
二十一日		(一七五)
二十二日		(一七六)
二十三日		(一七六)
二十四日		(一七八)
二十五日		(一七九)
二十六日		(一八〇)
二十七日		(一八一)
二十八日		(一八二)
二十九日		(一八六)

八月

初八日		(一九八)
初九日		(一九八)
初十日		(二〇〇)
十一日		(二〇〇)
十二日		(二〇一)
十三日		(二〇二)
十四日		(二〇三)
十五日		(二〇六)
十六日		(二〇六)
十七日		(二〇八)
十八日		(二〇九)
十九日		(二一〇)
二十日		(二一二)
二十一日		(二一三)
二十二日		(二一五)
二十三日		(二一六)
二十四日		(二一九)
二十五日		(二三〇)
二十六日		(二三一)
二十七日		(二三七)
二十八日		(二三七)
二十九日		(二三九)

初一日		(二四〇)
初二日		(二四〇)
初三日		(二四二)
初四日		(二四四)
初五日		(二四四)
初六日		(二四六)
初七日		(二四九)
初八日		(二四九)
初九日		(二五〇)
初十日		(二五一)
十一日		(二五二)
十三日		(二五二)
十五日		(二五四)
十六日		(二五五)
十七日		(二五五)
十八日		(二五五)
十九日		(二五七)
二十日		(二五八)
二十一日		(二五八)
二十二日		(二五八)
二十三日		(二六〇)
二十四日		(二六〇)
二十五日		(二六一)
二十七日		(二六三)
二十八日		(二六四)

九月

二十九日 (二六六)
三十日 (二六七)

初一日 (二六九)
初二日 (二七〇)
初三日 (二七一)
初四日 (二七二)
初五日 (二七三)
初七日 (二七五)
初八日 (二七六)
初九日 (二八〇)
初十日 (二八一)
十一日 (二八四)
十二日 (二八六)
十三日 (二八八)
十四日 (二九〇)
十五日 (二九一)
十六日 (二九二)
十七日 (二九四)
十八日 (二九六)
十九日 (二九九)
二十日 (三〇一)

十月

二十一日 (三〇二)
二十二日 (三〇五)
二十三日 (三〇六)
二十四日 (三〇六)
二十五日 (三〇九)
二十六日 (三一二)
二十七日 (三一四)
二十八日 (三一四)
二十九日 (三一五)

初一日 (三一八)
初二日 (三一九)
初三日 (三二〇)
初四日 (三二三)
初五日 (三二三)
初六日 (三二五)
初七日 (三二八)
初九日 (三二九)
初十日 (三三〇)
十三日 (三三一)
十四日 (三三一)
十五日 (三三二)

十一月

初一日		(三六二)
初二日		(三六三)
初三日		(三六三)
初四日		(三六七)
初五日		(三六九)
初六日		(三七〇)
三十日		(三六〇)
二十九日		(三五五)
二十八日		(三五四)
二十七日		(三五二)
二十六日		(三五二)
二十五日		(三五二)
二十四日		(三四九)
二十三日		(三四七)
二十二日		(三四六)
二十一日		(三四三)
二十日		(三四三)
十九日		(三四一)
十八日		(三三八)
十七日		(三三四)
十六日		(三三三)

十二月

初七日		(三七二)
初八日		(三七二)
初九日		(三七二)
初十日		(三七四)
十一日		(三七五)
十三日		(三七六)
十四日		(三七七)
十五日		(三七八)
十六日		(三七八)
十七日		(三七九)
十八日		(三七九)
十九日		(三八〇)
二十日		(三八二)
二十一日		(三八二)
二十二日		(三八三)
二十三日		(三八四)
二十四日		(三八四)
二十五日		(三八七)
二十六日		(三八九)
二十七日		(三九三)
二十八日		(三九五)
二十九日		(三九六)

初一日		(三九九)
初二日		(三九九)
初三日		(四〇五)
初四日		(四〇九)
初五日		(四一〇)
初六日		(四一三)
初七日		(四一五)
初八日		(四一七)
初十日		(四一七)
十一日		(四一八)
十二日		(四一九)
十三日		(四一九)
十四日		(四二三)
十五日		(四二五)
十六日		(四二七)
十七日		(四二八)
十八日		(四三〇)
十九日		(四三二)
二十日		(四三五)
二十一日		(四三七)
二十二日		(四三七)
二十三日		(四三九)
二十四日		(四四〇)
二十五日		(四四〇)
二十六日		(四四二)

二十七日		(四四四)
二十八日		(四四六)
三十日		(四四六)

嘉慶道光兩朝上諭檔

第三十冊

校勘表

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
二五	八	五九	調整
四二	一三	八七	正月十五日
五三	一六	一一七	調整
六八	二一	一四五	調整
九四	二七	一九七	殘缺
九五	二七	一九九	殘缺
九七	二八	二〇三	殘缺
一〇四	三〇	二一	調整
一〇七	三〇	二三	調整
一一七	三三	五一	調整
一四二	四一	一〇三	調整
一五〇	四四	一一五	二月十一日
一五七	四五	一四三	調整
一五八	四五	一四五	調整
一六二	四七	一三三	二月十四日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一七五	五〇	一六七	調整
一八七	五三	一八七	二月十九日
一九二	五四	一九五	二月十九日
二一〇	五九	二三七	調整
二二〇	六一	二五九	調整
二三四	六四	一七	調整
二四〇	六五	二三	三月初五日
二五九	六九	七一	調整
二六九	七二	八七	調整
二八五	七六	一一三	三月十六日
二八七	七六	一一五	三月十七日
二九七	七八	一三三	三月十八日
二九九	七九	一三五	三月十八日
三一	八一	一五七	三月二十日
三三五	八七	二〇七	三月二十四日

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
三五九	九四	七	四月初二日
三七五	九九	三七	四月初七日
三七六	九九	三七	四月初七日
三九九	一〇五	八七	四月初十日
四〇〇	一〇五	八七	四月初十日
四〇二	一〇五	八九	四月初十日
四〇五	一〇六	九三	四月十一日
四一二	一〇七	一一五	調 整
四二三	一〇九	一二九	四月十六日
四三六	一一二	一五三	四月二十日
四四一	一一三	一六一	四月二十一日
四四三	一一三	一六三	四月二十一日
四四七	一一四	一六九	四月二十三日
四七八	一二四	二九	五月初四日
四八一	一二四	三三	五月初五日
四八六	一二六	四一	五月初八日
四九六	一二八	五九	五月十一日
四九八	一二八	六一	五月十一日
五一四	一三一	九一	五月十六日

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
五一五	一三二	九九	調 整
五二八	一三五	一二三	調 整
五四八	一四〇	一五九	五月二十四日
五五五	一四一	一七一	五月二十五日
五七三	一四七	二一一	五月三十日
五八一	一四九	一三	六月初二日
六四二	一七一	一五三	六月十九日
六四三	一七一	一五九	調 整
六八一	一八一	二三七	調 整
六八三	一八一	二三五	六月二十六日
六九六	一八六	二七三	調 整
七〇七	一八八	五	七月初二日
七一二	一九〇	一五	七月初三日
七一八	一九二	二五	七月初三日
七二一	一九二	二九	七月初三日
七四五	一九八	七七	七月初七日
七六一	二〇二	一一五	調 整
七六三	二〇三	一一九	調 整
七六四	二〇三	一一一	七月十三日

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
七六五	二〇三	一一七	調 整
八〇一	二一二	一八九	七月十九日
八一〇	二一四	二一九	調 整
八四八	二三九	三三七	七月二十九日
八四九	二三九	三四三	調 整
八五一	二三九	三三九	七月二十九日
八五三	二三九	三四一	七月二十九日
八六五	二四二	二二	八月初三日
八六六	二四二	三一	調 整
八七〇	二四三	二七	八月初三日
八八〇	二四五	四七	八月初五日
八八七	二四七	六五	調 整
八八八	二四七	六七	調 整
八九八	二五一	八三	八月初九日
九〇五	二五二	九七	八月十一日
九二二	二五七	一二九	八月十九日
九三三	二六〇	一五一	八月二十三日
九五七	二六九	九	調 整
九六〇	二六九	一一	調 整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
九六四	二七〇	二五	調 整
九七一	二七一	二九	九月初三日
九七三	二七一	三一	九月初三日
九八四	二七四	六五	調 整
九九七	二七八	九三	調 整
一〇二一	二八七	一三五	九月十二日
一〇二五	二八七	一四一	九月十二日
一〇二八	二八八	一六三	調 整
一〇三七	二九〇	一六一	九月十三日
一〇九一	三〇八	二七九	九月二十四日
一〇九二	三〇八	二七九	九月二十四日
一一〇〇	三一〇	三〇三	調 整
一一二七	三一七	三五	九月二十九日
一一三〇	三一九	五	十月初一日
一一三七	三二〇	一七	十月初二日
一一四〇	三二一	三五	調 整
一一六〇	三二八	七三	調 整
一一七五	三三四	一〇一	十月十六日
一一七七	三三四	一〇三	十月十六日

序 號	頁 碼	原檔頁碼	校勘內容
一一七八	三三四	一〇三	十月十六日
一一八四	三三六	一一五	十月十七日
一一九〇	三三八	一二五	十月十七日
一二〇五	三四二	一五五	十月十九日
一二〇七	三四三	一五七	十月十九日
一二一六	三四五	一七五	十月二十一日
一二三一	三四九	二〇三	十月二十三日
一二三二	三四九	二〇三	十月二十三日
一二五三	三五五	二五一	調 整
一二六四	三六二	九	調 整
一二八九	三七〇	六九	調 整
一二九七	三七一	七三	十一月初六日
一三〇〇	三七二	八一	調 整
一三一四	三七四	一〇五	十一月初九日
一三二五	三七七	一二五	十一月十三日
一三三四	三七九	一四三	十一月十六日
一三三六	三七九	一四五	十一月十六日
一三三七	三七九	一四五	十一月十六日
一三三九	三七九	一四七	十一月十七日

序 號	頁 碼	原檔頁碼	校勘內容
一三四三	三八〇	一五三	十一月十八日
一三四七	三八一	一六九	調 整
一三六九	三八七	二〇五	十一月二十四日
一三七〇	三八七	二〇五	十一月二十四日
一三八〇	三八九	二二九	調 整
一四〇〇	三九六	二六五	十一月二十八日
一四二六	四〇八	四七	十二月初三日
一四三三	四〇九	六五	調 整
一四三四	四〇九	五九	十二月初四日
一四五二	四一五	一〇五	調 整
一四五三	四一五	一〇七	調 整
一五二九	四三九	二六九	十二月二十二日
一五三三	四三九	二七五	十二月二十三日
一五四〇	四四〇	二八七	十二月二十五日
一五五一	四四二	三〇七	十二月二十六日
一五五二	四四三	三〇七	十二月二十六日

1 道光五年正月初二日內閣奉

上諭朕於二月初二日臨御經筵所有應行典禮著各該衙門敬謹預備欽此

2 道光五年正月初三日內閣奉

上諭朕於二月二十日恭奉

皇太后啟慶二十三日祇謁

東陵禮成後朕於二十六日駐蹕南苑三月初二日回

圓明園所有應行事宜著各該衙門照例敬謹預備欽此

3 道光五年正月初三日奉

旨景六郎景春小羅成即趙八趙五郎春齡阿洪著交刑部會同宗人府歸案審訊步軍校形住於該犯等因賄賂嚴緝扭到廳並不即時解送究辦著交部議處欽此

4 道光五年正月初四日內閣奉

上諭上年直隸省隆平等縣被旱被水歉收業經降

旨分別緩徵小民自可無虞失所惟念今春東作方興無力貧戶恐缺乏種糧著加恩將文安縣三百六十村大城縣二百九十五村各借給籽種口糧折色穀三千石照例每石折價銀一兩二錢在於司庫地糧項下動撥查明實在貧乏不能耕種各戶均勻借給秋後免息徵還用示朕方春布澤普洽畿封至意該部即遵諭行欽此

5 道光五年正月初四日內閣奉

上諭上年江蘇省安東等州縣被水被旱歉收業經降旨分別蠲緩小民自可不致失所惟念今春青黃不接之時民力不免拮据除安東一縣並大河衛成災五分及勘不成災同歉收之江浦等二十二州縣衛侯察看情形再行酌辦外著加恩將沛縣成災五分之坊一等十二里之貧民實給一月口糧以資接濟用示朕惠恤賑區阜敷春澤至意該部即遵諭行欽此

6 道光五年正月初四日內閣奉

上諭上年山東省恩縣等州縣被灾節經降旨分

別緩徵小民自可不致拮据惟念今春青黃不接之時民力仍未能饒裕除日照等州縣銜無庸接濟外著加恩將恩縣之趙家莊等十三村及德州街坐落恩縣之卜官屯等四屯莊應徵道光五年上忙錢糧漕項河銀緩至秋後徵以紓民力用示朕惠鮮懷保敷布春膏至意該部即遵諭行欽此

7 道光五年正月初四日內閣奉

上諭上年河南省虞城等州縣被蝗被雹被水曾經該撫奏明勘不成災無庸調劑惟汝陽淮寧二縣因濱河被水涸復稍逐收成較減今春青黃不接之時民力不免拮据著加恩將該二縣被水村莊無力貧民雜借倉糧以資接濟其杞縣之雙塔黑木等社因積年被水於道光二三年春月共借領常濟倉穀八千七百二十三石零並著緩至本年秋後徵用示朕軫念民依春膏著被至意該部即遵諭行欽此

8 道光五年正月初四日內閣奉

上諭上年陝西省河縣等州縣被水被雹業經降旨分別賞給口糧倉穀小民諒可不致失所惟念今春青黃不接之時民力不免拮据著加恩將涇縣畧陽寧羗西鄉安定碑南鎮安七州縣歉收村莊貧民再行借給一月口糧以資接濟用示朕履端布惠慶洽燕恭至意該部即遵諭行欽此

9 道光五年正月初五日內閣奉

上諭福綿奏隰州等州縣民借常平倉穀未能全數還倉請分別緩徵一摺山西隰州等州縣上年秋收僅止六分五分有餘若將民借常平倉穀全數徵還民力不免拮据該撫查明懇請分別緩徵著加恩將隰州應徵四年春借穀一千四百二十九石緩至五年秋後徵收平魯五臺二縣未完三年民借穀共三千七百七十八石零先行徵收一半以紓民力該部知道欽此

10 道光五年正月初五日內閣奉

上諭前有旨令孫玉庭來京朕思南河運道經上年

高堰漫口之後不無停滯淺阻現屆各幫船重運
經臨催提攢渡存在均關緊要孫玉庭在江年久
於該處情形較為熟悉此時暫緩前來著與新任
漕督顏檢會辦重運事宜孫玉庭務當激發天良
認真經理於各船行走督令飛挽前進不得有逾
過淮例限日期如果籌辦妥協進行無誤尚可稍
贖前愆俟幫船全數渡黃再行來京供職欽此

11 道光五年正月初五日內閣奉

上諭陸以莊等奏揀員調補沿河知縣一摺著照所
請直隸武清縣知縣准其以劉體仁調補該部知
道欽此

12 軍機大臣 字寄

欽差尚書文 汪 兩江總督魏 江南河道總督

嚴 道光五年正月初六日奉

上諭文字等奏籌辦南河濟運衛民要工一摺此次
堰圩缺口堵合後黃水已高清水一丈三尺餘寸
即使春間稍有積水亦難敵黃濟運漕船關天庾

正供斷不能任其阻滯若於黃河以北添設撥船
接運事亦窒碍難行此時借黃濟運自係權宜辦
理惟從前嘉慶年間重運渡竣而王營減壩及棉
楊山李家樓先後失事尤不可不先事豫防籌及
萬全著照文孚等所議先於禦黃壩外添建壩工
三道斜束黃流俾免漲滿並於禦黃壩內外及束
清運口各壩兩岸灘面築做緯道以資束水行緯
共緯道內築做土壩數十道以備黃水內進鑲柴
逼溜至裏揚兩廳長河淤淺之段大加挑挖兩岸
堤身的估幫培豫貯料物隨時築壩逼溜刷淤俾
漕行不致淺阻其禦黃壩未啓之前先將來清壩
以內至高堰八堡一帶引河趕為估挑以便清水
漸長導引入運禦黃壩將啓之時即將束清壩嚴
密堵閉以杜黃水入湖至漕船渡江後著無分幫
次連舡北上不許脫空河口一帶多備閘纜繞夫
以期拉挽迅速分泊船隻以備起剝並著分派文
武幹員提催照料務於夏至以前黃水尚未渾濁
之時全數攢渡堵閉禦壩其黃河北岸切近運口之
王營減壩裏頭及鹽河陡埽等工現已鑲築豫備